

NEW PROGRAMS

バトンタッチ SDGs はじめてます

SDGs は2015年9月の国連サミットで採択され、加盟193カ国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた17の目標です。この番組では、SDGsに関心を寄せる若い世代が、SDGsに取り組む人や企業を訪ねます。そこで出会うのは、人間、社会、地球環境にもつわる「持続可能な未来」への活動…。問題解決への学びや気づきを通して、SDGsに関わる想いや志＝“未来へのバトン”を繋ぐ、ヒューマンドキュメンタリーです。

ナビゲーター：谷原章介



サウナを愛でたい

芸能界きってのサウナー・ヒヤダインと、「ととのった〜」の生みの親で
 レジェンドサウナーの濡れ頭巾ちゃん、がゲストとともに人気サウナ
 施設へ。ペテララならではの嗜みやその魅力を伝えながら、サウナ愛
 を爆発させます。そして、施設で働く方や利用者とのふれあいを
 通じて、全国津々浦々5,000軒以上あるサウナ施設の「個性」をおの手
 この手で愛でていきます。ナレーションは女性サウナーの壇皇が担当！
 出演：ヒヤダイン 濡れ頭巾ちゃん / ナレーター：壇皇



女子ゴルフ ペアマッチ選手権



今、話題の黄金世代、ブラチナ世代、
 昨年のプロテスト最終進出組、名門
 ゴルフ塾出身など、未来の女子ゴルフ
 界で活躍する若手選手たちが高額
 賞金を懸けて勝負！ペアマッチプレー
 トーナメント方式で優勝賞金200万円
 をゲットするのは？

金曜日に注目！

金曜夜7時はテレビ朝日の人気アニメ



未来の国からやってきたネコ型ロボットのドラえもんが、親友のび太とともに友情ファンタジーを繰り広げます。



嵐を呼ぶ永遠の5歳児、野原しんのすけとその家族が埼玉県春日部市を舞台に巻き起こすドタバタコメディ。

あの“金曜8時”が34年ぶりに復活!

ワールドプロレスリングリターンズ

昭和のプロレスファンに長く愛された、まさに“プロレス中絶のゴールデンタイム”で復活！ BＳ朝日オリジナル版で新日本プロレスの熱き闘いをたっぷりお届けします。



毎週金曜
夜 8:00



BS朝日は2020年、開局20周年



BS朝日

BS朝日は、2020年12月1日に開局20周年を迎えます。ロゴはアートディレクターの森本千絵さんがデザイン、視聴者の皆さまへの感謝を表すとともに、まだ見ぬ世界へ飛び立つ挑戦の思いを込めた20周年ロゴを展開します。これからもうBS朝日は次の世代、世界に向けて、楽しいコンテンツをお届けします。

森本 千絵 プロフィール

株式会社 goen* 主宰。コミュニケーションディレクター・アートディレクター。武蔵野美術大学客員教授。

1999年 武蔵野美術大学卒業後、博報堂入社。2006年史上最年少でADC会員となる。2007年株式会社 goen* 設立。

Canon、KIRIN、niko and... などの企業広告をはじめ、松任幸由美、Mr.Children のアートワーク、日本テレビ 24 時間テレビチャリティー T シャツデザイン、NHK「半分、青い。」のポスターデザイン、山田洋次監督「男はつらいよ 50 お菊さん」のポスターデザイン他、映画や舞台の美術、動物園や保育園の空間ディレクションなど活動は多岐に渡る。



RENEWAL

人生、歌がある

思い出の歌、心に響く歌、いつも口ずさむ歌…人生には、それぞれに胸に刻んだ歌があります。そんな名曲を豪華歌手が歌い継いでいくBS朝日の人気番組がリニューアル！ 西田ひかると中澤卓也がレギュラー音楽番組の司会を務めます。時代やジャンルを越えて今も愛され続ける様々な名曲を実力派の歌手たちがカバー。さらに、異色のコラボレーションをお届けする、見どころ満載の2時間です。司会：西田ひかる・中澤卓也



オトナの樂園 昇太秘密基地

「春風亭昇太の少年時代工房」がリニューアル！番組では、昇太が子どもの頃からの夢「秘密基地」づくりをスタート！関東近郊にある約2,000坪の小高い山をまるまる使って、誰もが一度は憧れた秘密基地を、自分たちの手でイチから作りあげていきます。番組には毎回昇太の夢を叶えるお手伝いをしてくれるゲストが登場！基地では、焚き火や料理を楽しんだり、基地を拠点に魚釣りや山菜採りに出かけるなど、「大人のアウトドア」を満喫していきます！
出演：春風亭昇太



20th ANNIVERSARY!!

We pondered, what can we deliver to your heart, it may be various information, or life entertainment, or something to you in to warm your heart. We want to gift this something, might different ways. We could say this something, anniversary, OUR HEART. This year as we celebrate our 20th anniversary, plenty of love, we deliver our heart to you.

[illegible]